

リシノプリル錠

Lisinopril Tablets

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.5 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 VmL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中にリシノプリル無水物(C₂₁H₃₁N₃O₅)約 5.6 μ g を含む液となるように水を加えて正確に V'mL とし、試料溶液とする。別にリシノプリル標準品(別途本品 0.15g につき、水分測定法の容量滴定法(直接滴定)により水分を測定しておく)約 0.015g を精密に量り、水に溶かし、正確に 100mL とする。この液 2mL を正確に量り、水を加えて正確に 50mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 50 μ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、リシノプリルのピーク面積 A_T 及び A_S を求める。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

リシノプリル無水物(C₂₁H₃₁N₃O₅)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 36$$

W_S : 脱水物に換算したリシノプリル標準品の量(mg)

C : 1 錠中のリシノプリル無水物(C₂₁H₃₁N₃O₅)の表示量(mg)

試験条件

検出器 : 紫外吸光光度計(測定波長 : 215nm)

カラム : 内径 4.6mm , 長さ 15cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度 : 60 付近の一定温度

移動相 : 薄めた 0.05mol/L リン酸二水素ナトリウム試液(1 : 2) / アセトニトリル混液 (19 : 1)

流量 : リシノプリルの保持時間が約 7 分になるように調整する。

システム適合性

システムの性能 : 標準溶液 50 μ L につき、上記の条件で操作するとき、リシノプリルのピークの理論段数及びシンメトリー係数は、それぞれ 1000 段以上、1.5 以下である。

システムの再現性 : 標準溶液 50 μ L につき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、リシノプリルのピーク面積の相対標準偏差は 2.0% 以下である。

溶出規格

表示量*	規定時間	溶出率
5mg	60 分	80% 以上
10mg	90 分	80% 以上

20mg	90 分	75%以上
------	------	-------

*リシノプリル無水物として

リシノプリル標準品〔USP24〕